

金沢大学における
留学生の日本語学習に関する
全学アンケート調査報告書

**Report on the Results of the Questionnaire for the Japanese Language Courses
in the Integrated Japanese Language Program of Kanazawa University**

2015年3月

March 2015

金沢大学国際機構留学生センター

総合日本語プログラム

Integrated Japanese Language Program
International Student Center, Global Affairs Section,
Kanazawa University

はじめに

金沢大学では、年々留学生の数は増加し、2010年に500人を超えました。これら留学生に対する日本語教育は留学生センターの中心的な業務の1つであり、これまでも、全学の留学生に対し、留学生カテゴリーごとのニーズに応じたきめ細やかな日本語教育を実施してきました。

昨年、金沢大学は、文部科学省の平成26年度スーパーグローバル大学創成支援事業に採択されました。「東アジアの知の拠点」としての機能を強化し、グローバル社会を牽引する人材の育成を行うため、学長のリーダーシップのもと教育、研究のグローバル化が進められています。このような金沢大学のグローバル化の中で、受け入れる留学生の数も質にも大きな変化が出てきています。そのような留学生たちの日本語学習を支援していくためには、彼らの持つ多様なニーズを今一度正確に把握し、より柔軟にそして効率的に対応できる教育システムとカリキュラムの整備が不可欠と考えます。

そこで、留学生センター総合日本語プログラムでは、留学生の日本語環境についての現状を把握し、今後のプログラム改編の基礎資料とするため、アンケートを実施しました。このたび、その結果を報告書としてまとめるに至りました。

今後、私どもは本アンケート結果を参考にして、個々の留学生カテゴリーのニーズに対応した柔軟で効率的な教育システムとカリキュラムの構築を目指す所存です。関係各位には、どうかご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2015年3月12日

金沢大学国際機構留学生センター長

大谷 吉生